

坂東市青少年議会 市政へ中高生が提言



8月23日、市役所議場において「青少年議会」が開催され、中高生が執行部に対し、地域の活性化やSNSの活用方法、公共交通などについて質問を投げかけました。

同議会は、未来を担う子どもたちに市政への関心と理解を深めてもらうことを目的に開催。当日は、市内の中高生13人が議員や議長役を務め、議員役の生徒たちは、保護者や市議が傍聴するなか、堂々とした姿で登壇し、質問を行いました。

近い将来、選挙権を持つことになる中高生たちが議会を体験することで、市政の仕組みや市議会の役割を理解し、将来の坂東市をもっと考え、行動してくれることを期待します。

